議会を傍聴している方々のお声を伺いました
ーみなさんはどんな風に思いますかー

岩本町地区

お母さんの憩いの場にしてはどうか

私自身は、今川中をアーツ千代田のようにリノベーションしてほしいと考えます。
大きな校庭もあるため…そこを子供がのびのびと運動ができるような競技場にしてほしいです!
また、教室は習い事ルーム、憩いの場ルーム、栄養士相談ルームなどお母さんたちの憩いの場となるのではないでしょうか?
今中の屋上は菜園を作って…千代田区で取れた有機野菜を販売したり、都会でもこんな生き物がいますよ~という場所があると嬉しいです。
その菜園で採れた野菜を使って、カフェも良さそうですね!岩本町には高齢者の方が多いのですが、1人暮らしが非常に多く、家族が少ないとご飯を作ることもなくなり、スーパーのお惣菜が多くなるそうです。面倒な時はパンだけ、カップラーメンだけの日も多いとか。手作りのお店を作ったら行くから作って欲しいと言われました。時々多く作ったら、周りの方におかずを持って行っています。子供食堂だけでなく、高齢者食堂も必要では?と思いました!

岩本町地区 女性

神保町地区

ある日の傍聴席は、別室までいっぱいに

昨年9月に番町の方々がまちづくりのことで陳述をする区議会を傍聴しました。子連れの若いママさんを含め、傍聴席は別室までいっぱいでした。区議会で陳述する方達の熱意溢れる発言にも勇気をもらいました。

神保町地区 男性

議会は追認機関ではないはず

本来、議会は行政をチェックする機関のはずが議員は行政の計画を追認するだけの機関になっています。議員も公僕、行政も区民の為にあるはずが、どっちの方向を見ているのか。小枝さんはひたすら住民の立場にたって発言してくれています。

麹町地区 女性

麹町地区

番町地区

東郷公園に思う

その昔、番町では個々の家の庭の植栽が町の緑を提供していましたが、現在は殆どがビルに変わっています。土と緑がびっくりするほど少なくなっているので、公園の価値は昔に比べて著しく高くなっています。これは住民がいちいち言葉に出しているわけではありませんが肌感覚で日々感じていることです。

そんな中、九段小学校の復原の関係で、東郷公園の改修工事が始まりました。バサバサと樹木を伐採している様子に驚いた近隣住民から、現在の公園の土や緑の自然をなるべくそのままに、巨大なウッドデッキはやめて欲しい等、千人を超える方々から陳情がありました。

それらの陳情に対し行政がどう応えるのかはっきりしないまま、鉛による土壌汚染の問題が浮上し、都の条例に従って対策をしなければならなくなりました。汚染土壌に植えられている樹木は根こそぎ伐採の運命にあるようです。対策計画の策定のため現在公園は閉鎖された状態が続いています。そのままいじくらないでおいてくれれば良かったのに‥と思っている住民は多いのではないかと思います。

現在の状況の中での願いは、住民のオアシスである土と緑の環境が出来得る限り守られること。それが今回汚染土壌対策により不幸にして毀損されたとしても、将来また自然豊かな環境が再生できる計画にして欲しいということです。

いずれにしてもヒートアイランド化を促進する方向へは行かないこと、新たな環境汚染を招くことのないよう人工的な材料は避け自然素材を使っていただきたいということです。特に発注者である行政には薬品で防火処理をしたウッドデッキの大量使用、経年劣化で浸水性が落ちてくる可能性のあるクレイ舗装などには十二分に注意していただきたいと思います。

番町地区 女性

編集後記

戦後の焼け野原から、困難を乗り越え不屈の精神でインスタントラーメンを発明した安藤百福氏モデルの朝ドラ「まんぷく」。生きてさえいれば何とかなる、笑顔を忘れず努力を続けるふくちゃん、どんな状況でも前向きでありたいものだと元気をもらいます。昨今も先行き不透明な難しい時代ですが、余計なことを考えず、誠実にポジティブにシンプルに頑張ろうと思います。

平成 31 年は、5月新元号になる前に統一地方選です。年末よりポスター掲示板しと貼られるいつもの風景に包まれます。私はいままで事前ポスター的なものを貼ったことがありません。小枝流にて、ご了承ください。「ちよだの声ニュース13号」をお届けします。どうぞお読みになって、ご意見ご感想をお寄せください。(小枝)

TEL 03-3291-2290 FAX03-3237-9805　sumikokoeda@gmail.com

平成31年(2019年)1月10日発行

ちよだの声ニュース

【ちよだの声区政報告・活動報告】千代田区議会議員　小枝すみ子

13号

P2 …… ご存知ですか、千代田区の財政状況?
P3 …… グラフ基金残高の推移、容積率ってなんだ
日テレ沿道まちづくり協議会第7回日程
P4 …… 区民傍聴者の声・編集後記

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1　千代田区役所7階　ちよだの声 TEL.03-3264-2111(代表) FAX.03-3237-9805
sumikokoeda@gmail.com　携帯.090-5506-1516

平成最後の年に思うこと

■同じテーブルで話せる年に

ーこのままいけば千代田区の貯金がなくなること、ご存じですか?ー

日に余る不用意な財政支出が増えています。同時に地域が分かれてもめるようなことも頻発しています。千代田区が失敗する時は、この30年いつもパターンが同じです。

①知らないところで区案を決める→②地元協議会で揉める→③決定後区民が知る→④陳情が起きる、地域を二分する→⑤計画修正となる(もしくはそのまま強行する!)これが、千代田区がトラブルを引き起こすときに共通するやり方です。協議会や町会に重い負担を負わせて、区自らが公開で説明することを避け、あとになって矛盾が出て計画変更する、さらなる出費がかさむということになります。先駆けて検討に加わった町会の方々に、迷惑をおかけすることになります。

番町麹町地区ではまちづくりや公園整備をめぐり、神田地区では街路樹伐採や保育園整備等をめぐり、行政への信頼が揺らいでしまいました。なぜ、住民や千代田区を大切に思う方々と一緒に知恵をつくすというやり方ができないのか不思議でなりません。マンション居住者9割、新住民が過半数を超えた千代田区で、昔の古いやり方にこだわっては、混乱は増すばかり。何より、このようなやり方を続ければ財政破綻で真に必要な防災や福祉教育への対応ができなくなることは必至です。

都心千代田は、世界遺産に値すると評されるほど、まちまるごと文化財の町なのに、守り伝承し、住み商売を続けるまちづくりに専念できないものなのか、行政および議会の役割が問われています。

■次世代が見えてきた

ーいま、子育て世代の動きが目覚ましいー

「ひこばえ」という言葉、意味は、切り株や根元から生える若芽とのことで、春を意味する季語だそうです。平成30年は大変な年でしたが、明るいこと良いことも沢山ありました。今までの人生で一番多かったかもしれません。その一つが、次世代の方々の目覚ましい動きが、千代田区でも全国でも、私の目に見えたことでした。

20代から議員を続けてきて、かれこれ30年にもなる私にとって、これは最大の「希望」です。3・11の震災や、原発事故を感受性の高い若い目線で見てきた彼らは、複雑な時代の新しい視野とスキルを身につけています。こうしたみなさんに学び、刺激と影響を受けています。

区政報告会

昨年12月14日、建築エコノミスト森山高至さんをゲストに区政報告会をさせていただきました。もっとこのような会をした方が良いとのお声をいただき、新年連続で、報告会を行います。お忙しいとは存じますが、どうぞお気軽にご参加下さい。

どうする都心千代田区
ー財政、まちづくりー

- ●2月2日(土)午後2時~4時
  区政報告パート1
- ●3月2日(土)午後2時~4時
  区政報告パート2

会場:神保町出張所3階